

## 「元気が出る」ヘッドマーク電車が走る

～びわこ京阪奈線（仮称）鉄道建設期成同盟会～

★びわこ京阪奈線（仮称）を実現しよう！  
びわこ京阪奈線は、米原から海東、東近江および甲賀市を經由し、京都南部に至る鉄道建設構想です。

**近** 江鉄道と信楽高原鐵道のヘッドマークデザイン募集で、甲南中部小学校5年の橋咲希さんの作品が優秀賞に選ばれました。

この募集は、県内小学5・6年生を対象として、鉄道に親しみ沿線地域のマイルール意識を高め鉄道の利用促進につなげることを目的に実施されたものです。応募総数522点の中から橘さんの作品のほか4点が優秀作品に選ばれ、2月27日に近江鉄道の八日市駅ホールで表彰式が行われました。

「元気が出る電車」をイメージ



▲優秀賞に選ばれたヘッドマークと橘さん

詳しくは、びわこ京阪奈線（仮称）鉄道構想ホームページ（http://www.pref-shiga.jp/kakuka/hkotsu-s/biwako-keihanna.html）をご覧ください。

## ジュニアポリスが安全運転呼び掛け

～ひなまつり街頭啓発～

**桃** の節句を前に、警察官の制服姿のジュニアポリスが3月2日、量販店でひなあられを配りながら交通安全を呼びかけました。この「ひなまつり交通安全街頭啓発」は、甲賀湖南交通安全協会と甲賀警察署が行ったものです。ジュニアポリスに扮したのは大原にこの園の5歳児28名。店の出入りに整列し、園児のメッセージ入りのひなあられと交通安全啓発チラシ1000セットを買い物客に配りました。



▲ひなあられを手渡ししながら買い物客に交通安全を呼び掛けるジュニアポリス

園児らが「安全運転お願いします」とひなあられを手渡すと、買い物客らは「ありがとう」と笑顔で受け取っていました。

## 「ふれ愛、せええ愛、笑い愛」で仲間の輪広がる

「ふれ愛甲賀ふうせんバレーボール大会」がいの有無に関係なく、老若男女の誰もが楽しめるスポーツを、と開催されている「ふれ愛甲賀ふうせんバレーボール大会」。今年も2月21日に土山体育館で開催されました。この大会は、市身体障害者更生会が主催するもので、今年2回目を数えました。

市内はもちろん市外からも多くの参加があり、皆さんはコートいっぱいを駆け回り、笑顔が体育館に広がっていました。

ふうせんバレーボールは、バドミントンのコートを使い、6人1組で対戦するもので、ボールはゴム風船、誰もが楽しめるスポーツとして広がりつつあります。



▲楽しみながらも真剣にプレーする参加者の皆さん

## 子どもたちが椎茸栽培ほだ木づくりを体験

～寺庄区子ども会～

**椎** 茸はどっやっやって栽培するの？という子どもたちに椎茸栽培を体験させてあげたいと、2月14日、甲南町寺庄区の子ども会みんなが椎茸のほだ木づくりを体験しました。この事業は、同地域内で組織される「創造の森を良くする会」の支援で実現したもので、約30名の子どもが参加しました。

当日は、創造の森を良くする会の皆さんがほだ木に穴を開け、子どもたちが菌の植え付けを担当、熱心な作業に用意したほだ木への植え付けもあっという間に終わりました。

少し肌寒い日でしたが、貴重な経験に子どもたちも大喜び、秋の収穫が今から楽しみで仕方ないようでした。



▲熱心に菌を植え付ける子どもたち

## 経営基盤強化のために

～甲賀市工業会がセミナーを開催～

**市** 内に事業活動拠点を有する企業で設立された甲賀市工業会。現在は、約90社が加盟、各企業の経営基盤強化と地域社会への貢献を目的に活動されています。

厳しい社会情勢の中、確かな経営基盤強化を進めようと2月25日に市工業会新春セミナー2010が開催されました。

当日は、（株）産業タイムズ社の取締役社長 泉谷渉氏が「環境エネルギー革命が日本の最大の追い風」と題して講演、参加された企業の皆さんもメモを取るなど、熱心に聞き入っていました。

セミナー後には、企業間の情報交換の場が持たれました。情報交換会には、中嶋市長も参加、市内企業の経営状況など市内の各企業を取り巻く現状を聞かせていただく機会とさせていただきます。



▲セミナーでの講演会。参加企業の皆さんも熱心に聞き入っていました

## 災害時の応援協定 NPO法人甲賀ユートピアネットワークと市が締結

市内で大規模な災害が発生したときの道路や河川などの迅速な復旧は、災害の拡大抑制や安全な避難ルートの確保などのために重要です。そのため、市では、これまで各方面の民間団体と災害時応援協定を締結、災害に強いまちづくりを進めています。

こうした中、市では、NPO法人甲賀ユートピアネットワークとの間で災害時応援協定を締結、今後、救援活動に力強い支援をいただけることとなりました。

同ネットワークは、甲賀・湖南両市の建設関連企業により、昨年12月に設立された特定非営利活動法人で、両市地域での環境保全と地域安全、緊急災害時の救援活動などを目的とされています。

今後、災害発生時には、必要に応じて災害応援救援活動を要請、公共施設（道路や河川）などの復旧、人命救助、応急仮設住宅の建設など多方面で支援いただくことになりました。



▲協定書に調印、甲賀ユートピアネットワーク代表の山中氏（右）と中嶋市長（左）